■「自閉症スペクトラム障害と向精神薬の影響に対するホメオパシーの有効性」

日本ホメオパシーセンター愛知三河安城
JPHMA 認定ホメオパス No.0862
ZEN メソッド修得認定 No.0212
杉浦 美奈子（すぎうら　みなこ）

［主訴］ 20 歳男性

① 強迫性障害（手が汚れていないか、箸を持った時に揃っているか、など何度も確認してしまう）
② 脳の違和感（体の感覚と、頭でキャッチすることにしっくりこない感覚がある）
③ 同居の祖母が自分を嫌っているという思い込みのため自室から出られない
④ 人の目が気になり、家から外に出られない
⑤ 身の回りの事が自分で出来ないことがある（書類を読んで対応する・入浴・爪を切る）

［方法およびタイムライン］

第二子。予防接種は全て打った

5 歳： IQ63　自閉症スペクトラム障害と診断
14 歳： 姉が自殺で心のバランスを崩す。多動・健忘症
15 歳： 高校入学。9 月に教室で友達から暴力を受け、以降不登校。急性妄想性障害で休学。
向精神薬開始
16 歳： 4 月から高校に復帰。薬は 9 月で止める。
17 歳： 進路で悩み、受験失敗でまた妄想が始まる・独り言が多くなる。12 月向精神薬再開。
18 歳： 自動車免許でつまずき、以降通院以外の外出をしなくなる。
6 月　自殺未遂（向精神薬を大量摂取）・統合失調症の診断。
薬を変えて、妄想がひどくなる。
7 月　再び自殺未遂。
9 月　内職の仕事をやってみたが、緊張から強迫性障害で手をしょっちゅう洗うように。
10 月 睡眠薬の効果が無いので、薬を変える。
12 月 自分で入浴して身体を洗うことが難しくなり、母が入浴を手伝うように。
19 歳： 自分で強迫性障害を治したいと積極的になる。
副作用が辛いので睡眠薬以外の向精神薬をやめる。

健康相談会１回目２０１８年6月２８日

上記の症状を TBR（The　Bonninghausen　repertory)で検索。

©Japan Homoeopathic Medical Association(JPHMA) All rights reserved

1：780# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 1.精神 - 不安 ： - 肉体的な(体に感じる、憂慮、など)：

2：789# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 1.精神 - 絶望(失望、落胆)：

3：795# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 1.精神 - 不信(疑念、自信喪失、臆病)：

4：805# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 2.知力 - 譫妄(意識混濁、精神錯乱、興奮、幻覚症状)：

5：807# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 2.知力 - 気がそぞろ(放心状態、不注意)：

6：1764# 4.基調 - 1.基調 - 3.精神 - 苛立たしさ(かき乱される、気分を害する･困惑する、悩まされる)から ： - 不安を伴う：

7：804# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 2.知力 - 理解 - 困難な ：

8：800# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 2.知力 - 活発、過剰な(知的活動過剰)：

9：836# 3.全般 - 2.睡眠 - 4.不眠 - 不眠全般 ：

順位	レメディー	出現回数	点数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Lyc.	9	24	3	3	3	3	3	2	4	1	2
2	Puls.	8	24	4	3	4	1	4	3	1		4
3	Bell.	8	21		2	3	4	2	3	2	2	3
4	Cham.	8	20	4	1	1	1	4	3	2		4
5	Sulf.	8	18	3	3		2	2	2	2	1	3
6	Calc.	8	17	3	3	1	1	1	2	2		4
7	Phos.	8	13		1	1	2	1	1	1	3	3

[レメディー]

朝・夜　MT)Hyper-Str+ Obsid.200C+ Obsid-E 200C+ Blessing 30C+ Rainbow 200C+ Ayah.200C

朝　　アルポ(5ml)+ Phos.LM01+ Syph.LM02+ Psor.LM02+ Bell.LM03

夜 1　　小瓶（約 30 粒）+ Carc.12C+ Ameth-E 200C（睡眠サポート）

夜 2　　小瓶（約 30 粒）+ Sep.200C+ Stram.200C（歯ぎしり、夜驚症サポート）

※Obsid.、Obsid-E /黒曜石、Blessing /ブレッシング、Rainbow /虹、Ayah./アヤワスカ
Phos./燐、Syph./マヤズム、Psor./マヤズム、Bell./セイヨウハシリドコロ、Carc./マヤズム
Ameth-E /紫水晶、Sep./イカ墨、Stram./シロバナチョウセナサガオ

MT)Hyper-Str は敏感すぎる神経のサポートに
地に足を付けることと、薬の影響に対して Obsid、Blessinng、Rainbow、
妄想というか、思い込みの強さに Ayah
敏感さに Phos.、マヤズムは自殺を試みたことがあることから Syph.、皮膚に出やすい傾向から Psor.、TBR 第 3 位である事と、向精神薬の影響を考えて Bell.

[経過]

©Japan Homoeopathic Medical Association(JPHMA) All rights reserved

健康相談会２回目　２０１８年８月８日

睡眠薬を止めたが、ほぼ眠れる。脳の違和感についての訴えは無くなった。

4 日後確認行動が強くなるとのことで、Hyper-Str φ の 1 日の摂取量を減らしてもらう。

その後落ち着き、確認行動は 7 割くらいまで減少。

まだ外へ出ることは出来ない。祖母が怖いという思い込みも変わらず。

睡眠薬の使用もやめた。(本人の薬を止めたいという意思により)

1：779# 3.全般 - 1.精神 (および気質) - 1.精神 - 不安：

2：795# 3.全般 - 1.精神 (および気質) - 1.精神 - 不信(疑念、自信喪失、臆病)：

3：805# 3.全般 - 1.精神 (および気質) - 2.知力 - 譫妄(意識混濁、精神錯乱、興奮、幻覚症状)：

4：807# 3.全般 - 1.精神 (および気質) - 2.知力 - 気がそぞろ(放心状態、不注意)：

5：789# 3.全般 - 1.精神 (および気質) - 1.精神 - 絶望(失望、落胆)：

6：804# 3.全般 - 1.精神 (および気質) - 2.知力 - 理解 - 困難な：

7：836# 3.全般 - 2.睡眠 - 4.不眠 - 不眠全般：

8：804# 3.全般 - 1.精神 (および気質) - 2.知力 - 理解 - 困難な：

順位	レメディー	出現回数	底数合計	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Lyc.	8	25	3	3	3	3	3	4	2	4
2	Puls.	8	22	4	4	1	4	3	1	4	1
3	Bell.	8	21	3	3	4	2	2	2	3	2
4	Aur.	8	19	3	2	3	1	4	2	2	2
5	Merc.	8	19	2	1	1	3	2	3	4	3
6	Cham.	8	18	3	1	1	4	1	2	4	2
7	Calc.	8	17	3	1	1	1	3	2	4	2
8	Phos.	8	12	2	1	2	1	1	1	3	1

急に薬を止めることは危険だとお伝えするも、副作用（眼球が上を向いてしまう、太る、皮膚の炎症など）が辛くて相談会にかかる 1 ヶ月前からやめており、今のところ離脱症状は無く、レメディーへの反応も良い。

[レメディー]

アルポ(5ml)+ Phos.LM02+ Syph.LM03+ Psor.LM03+ Bell.LM04

大瓶（約 100 粒）+ Sep.200C+ Stram.200C+ Staph.200C（だるさ、歯ぎしり、夢遊病、夜驚症、悪夢のサポート)

大瓶（約 100 粒）+ Carc.12C+ Ameth-E 200C+ Valer.6X（睡眠サポート）

※Staph./ヒエンソウ、Valer./ヨウシュカノコソウ

©Japan Homoeopathic Medical Association(JPHMA) All rights reserved

臓器サポートは前回の残りを引き続き飲む。
メインのレメディーは症状が改善しているので前回の物のポーテンシーを上げて選択。

[経過]

健康相談会３回目　２０１８年９月６日

不眠サポートの粒レメディーでけっこう眠れている。
確認行動が初回 10 とすると前回が 7 まで、今回が４くらいになっている。
年金の事を、わからないところを自分で電話して対処出来た。
お風呂を洗ってくれたり、自分一人でお風呂に入ったりできることがかなり増えた。
まだ外へ出ることは出来ない。祖母が怖いという思い込みも変わらず。

1：779# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 1.精神 - 不安：

2：795# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 1.精神 - 不信(疑念、自信喪失、臆病)：

3：807# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 2.知力 - 気がそぞろ(放心状態、不注意)：

4：805# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 2.知力 - 譫妄(意識混濁、精神錯乱、興奮、幻覚症状)：

5：804# 3.全般 - 1.精神（および気質） - 2.知力 - 理解 - 困難な：

6：836# 3.全般 - 2.睡眠 - 4.不眠 - 不眠全般：

7：829# 3.全般 - 2.睡眠 - 3.眠気 - 日中全般：

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7
1	Puls.	7	22	4	4	4	1	1	4	4
2	Bell.	7	20	3	3	2	4	2	3	3
3	Op.	7	20	2	1	3	4	4	3	3
4	Lyc.	7	20	3	3	3	3	4	2	2
5	Cham.	7	17	3	1	4	1	2	4	2
6	Merc.	7	16	2	1	3	1	3	4	2
7	Anac.	7	15	3	3	1	2	2	1	3
8	Calc.	7	15	3	1	1	1	2	4	3
9	Aur.	7	14	3	2	1	3	2	2	1
10	Phos.	7	14	2	1	1	2	1	3	4

[レメディー]

アルポ(5ml)+ Phos.LM03+ Syph.LM04+ Psor.LM04+ Bell.LM05
　臓器サポートは１回目の残りを引き続き飲む。
　メインのレメディーは症状が改善しているので前回の物のポーテンシーを上げて選択。
Carc.12C+ Ameth-E 200C+ Valer.6X（睡眠サポート）
Sep.200C+ Stram.200C+ Staph.200C だるさ、歯ぎしり、夢遊病、夜驚症、悪夢のサポート）

©Japan Homoeopathic Medical Association(JPHMA) All rights reserved

[結果]

この後も相談会を継続。

11 月に大きな変化。過去の辛かった記憶を母に話して沢山泣く。

12 月に入って急に外に出られるようになるが、それと同時に妄想が激しくなっていった。

急に向精神薬を止めたことからの離脱症状なのか、過去の症状が戻ってきたのか、他に理由があるのかは不明だが、入院するまでに妄想が悪化し、言動や行動が暴力的になる。

入院と投薬治療で大声を出す、壁を蹴るなどの衝動はおさまった。

公的機関への補助も受け入れて、向精神薬を減らしていく方向の医師にも巡り会い、ゆっくりと生活を再建している。

現在は祖母への思い込みは和らぎ、外に出ることも出来ている。

家族は向精神薬を止めることが目的だが、ゆっくりやっていくという意識になっている。

[考察]

向精神薬を急に止めることはなかなか難しいという事がわかるケースだった。

しかし薬を止め、レメディーをとることで好転したことも沢山あった。

まず、眠れるようになり、身の回りのことが出来るようになり、健康保険の手続きという社会的な事もこなせるようになった。

過去の辛かった感情を家族に打ち明け、家族が受け入れてくれたという幸せも感じることが出来た。

家の外に出ることが出来るようになり、祖母へのわだかまりも解消し、妄想は落ち着いている。

薬の副作用に耳を傾けることができる医師に巡り会ったのも大きいだろう。

このケースは、母も同時に相談会を受けており、母の心の問題が浮上しては乗り越えていったことも、母親が彼を受け止める事に大きく関わっていた。

病気の原因は自分の外には無く、中にあること、わき上がる感情を感じて、受け止める事で過去の出来事からの思い違いや自己卑下を親子共々ゆっくり紐解く事が出来つつある。

大きな波を経験して、現在は家族も本人もゆっくり回復していくことを受け入れている。

カテゴリー：[薬剤等からの影響][発達障害]

©Japan Homoeopathic Medical Association(JPHMA) All rights reserved